

御前崎市農業委員会の 加入推進の取り組み

御前崎市農業委員会
会長兼加入推進部長
山下 智久

御前崎市の紹介



- 静岡県の南端、静岡市と浜松市のほぼ中間に位置
- 北部は牧之原台地から続く丘陵地帯、南部は御前埼灯台の建つ岬や遠州灘海岸の砂丘地帯
- 面積 65.56km²
- 人口 31,305人(令和3年7月31日現在)

御前崎市の農業

- 総農家数 730戸(2020年農林業センサス)
- 認定農業者 142経営体(うち27組が家族経営協定を締結)
- 認定新規就農者 17経営体
- 農業算出額(令和元年度市町村別農業産出額(推計)) 47億9千万円
 - やさい(いちご、温室メロン、トマトなど) 24億7千万円
 - 家畜(肉用牛、豚など) 10億7千万円
 - 米 3億7千万円
 - 茶 3億円
 - いも類 1億6千万円
 - 花き 1億5千万円



自己紹介

御前崎市農業委員会

会長兼加入推進部長

山下 智久(66)

- 昭和30年 御前崎市(旧浜岡町)の複合経営農家に生まれる
- 昭和44年 畑作から施設園芸(周年メロン栽培)に切り替える
- 昭和49年 静岡県立磐田農業高校卒業
- 昭和49年 農家研修(1年間)
- 昭和50年 就農
- 昭和56年 静岡県青年農業士認定
- 平成19年 静岡県農業経営士認定
- 平成19年 御前崎市農業委員会委員
- 平成28年 御前崎市農業委員会会長
農業者年金加入推進部長



年金制度と自分について

●自分自身の年金について

⇒国民年金のみで、老後の生活に不足を感じている

●農業者年金は・・・？

⇒父親が旧制度時代の年金に加入

56歳で亡くなり、僅かな死亡一時金を受給したのみ

●平成28年から、加入推進部長に

⇒新制度の良さを認識し、息子夫婦に早い加入を勧めた
制度を知らない農業者がいないよう加入推進を始めた

農業者年金の加入状況

	H30	R1	R2	R3
目標	2	2	2	2
実績	2	5	11	0※

※令和3年7月現在

令和2年度農業者年金 表彰

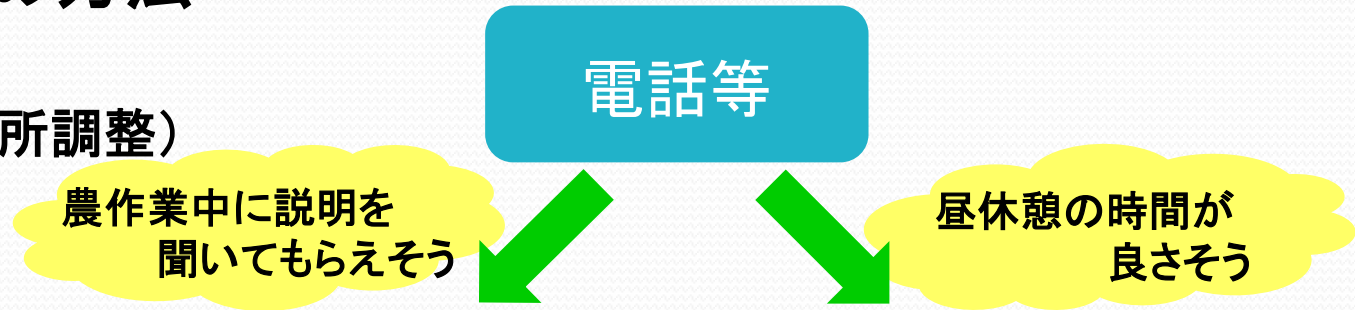
目標達成度合い(新規加入目標1~4人) 3位

目標達成度合い(39歳以下目標1~4人) 2位

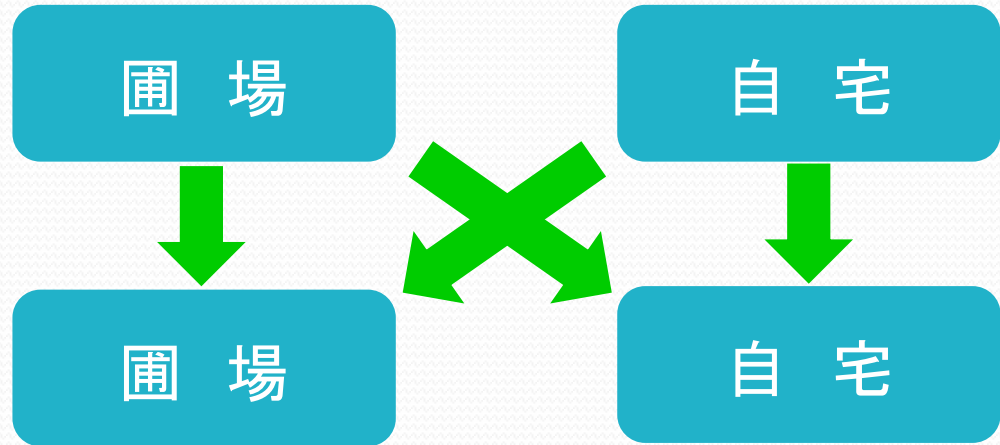
加入推進の取り組み①

(1) 戸別訪問の方法

①アポ取り
(訪問の日時・場所調整)



②初回訪問 **20分以内**
(農業者年金制度説明)



③再訪問 **20分以内**
(加入の意向確認)

時間より回数を重視!

加入推進の取り組み②

(2) 戸別訪問に使った資料

①パンフレット(基金作成)



②試算表(基金のHPより作成)

③普及グッズ(静岡県農業会議より提供)

加入推進のポイント

戸別訪問での口説き文句

「まずは1年やってみてください。
休むこともできます。再開することもできます。」

戸別訪問での説明内容

● メリットを伝える

- ・保険料の社会保険控除による節税効果
- ・積立方式・確定拠出型で安定した制度
- ・若手農業者には国庫補助
⇒家族経営協定を締結すれば融資を受ける際にも役立つ

● 安心感を与える

- ・保険料は千円単位で自由に変更できる
- ・加入後、毎年6月に運用(付利)結果のお知らせが届く

加入推進をして思ったこと 気づいたこと

自分自身が感じたこと

- 日頃から、同世代・先輩・後輩に後継者がいるか情報共有が必要
- 保険料の納付について、バリエーションがありおもしろい
(前納納付する、翌年の収益を予想して保険料を増やすなど)
- 新規就農者とコミュニケーションが取れる

加入対象者等の反応

- まずは両親にアポを取り、短時間で帰ることで好感を持ってもらう
- 試算表を渡すことで目標ができる

これからの活動

●加入対象者の把握

農業委員、農地利用最適化推進委員へ情報提供を呼びかけ、戸別訪問を推進する。

●農業者年金制度を広く周知

農業委員会だよりなど、新たな広報手段を検討する。